

プログラム 9月23日(土) 大ホール

10:00～12:00

シンポジウムⅠ「地域・災害における自殺予防」

座長 高橋祥友（筑波大学医学医療系災害・地域精神医学）

高橋晶（筑波大学医学医療系災害・地域精神医学）

SⅠ-1 「松之山町における高齢者自殺予防活動—高齢者自殺多発地域における30年間—」

高橋邦明（心療内科・神経科高橋クリニック）

SⅠ-2 「地域における自殺対策 足立区「生きる支援」の取り組み」

馬場優子（足立区衛生部こころとからだの健康づくり課）

SⅠ-3 「地域自殺予防活動と災害精神支援」

大塚耕太郎（岩手医科大学神経精神科学講座）

SⅠ-4 「福島における自殺とその予防対策について：6年目の課題」

前田正治（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座）

13:00～13:45

理事会・評議会

13:45～14:30

総会

14:30～15:30

大会長講演 「つながりからみた自殺予防の過去・現在・未来」

演者 太刀川弘和（筑波大学医学医療系精神医学）

座長 張賢徳（帝京大学医学部附属溝口病院精神科）

プログラム 9月23日(土) 大ホール

15:30～17:30

シンポジウムⅡ 「医療現場と自殺予防」

座長 堀孝文（茨城県立こころの医療センター）
白川洋子（公益社団法人茨城県看護協会）

SⅡ-1 「入院患者の自殺事故：日本医療機能評価機構・認定病院患者安全推進協議会による最新の大規模調査から得られた知見」

河西千秋（札幌医科大学医学部神経精神医学講座）

SⅡ-2 「病院連携と自殺予防」

白鳥裕貴（筑波大学医学医療系精神医学）

SⅡ-3 「救命救急センターにおける自殺予防」

衛藤暢明（福岡大学医学部精神医学教室）

SⅡ-4 「自殺予防における看護師の役割」

白川洋子（公益社団法人茨城県看護協会）

17:30～18:30

教育講演Ⅲ 「薬物依存症と自殺」

演者 森田展彰（筑波大学医学医療系社会精神保健学）

座長 斎藤環（筑波大学医学医療系社会精神保健学）

プログラム 9月23日(土) 大ホール前ホワイエスペース

9:00～9:30 受付

9:30～15:30

ポスター討論Ⅰ 「地域」

座長 影山隆之（大分県立看護科学大学看護学部）

PⅠ-1 「障害福祉サービス就労移行支援事業における自殺予防の取り組み」

浅見淳（株式会社 LITALICO ライフネット支援室）

PⅠ-2 「中高年男性を対象とした自殺予防対策の検討～静岡県富士市「富士モデル事業」を通して～」

高城佳那（静岡産業大学）

PⅠ-3 「熊本県球磨郡あさぎり町でのうつ病スクリーニング調査後に保健師によるフォローアップを必要とした住民の特徴について」

西良知（熊本大学医学部神経精神科）

PⅠ-4 「札幌市における新たなゲートキーパー養成研修プログラムの開発と実践」

川本静香（立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構）

PⅠ-5 「自己および家族が心の病を抱えた際の被援助志向性とその要因」

平社千絵（元・群馬大学大学院保健学研究科）

9:30～15:30

ポスター討論Ⅱ 「救急」

座長 福山なおみ（つくば国際大学医療保健学部精神看護学）

PⅡ-1 「奈良県立医科大学附属病院に搬送された自殺企図者の実態調査」

杉本麻衣（奈良県立医科大学附属病院精神医療センター）

PⅡ-2 「名古屋大学医学部附属病院における自殺対策マニュアルの作成とその活用」

山内彩（名古屋大学医学部附属病院 精神科）

PⅡ-3 「関西自殺未遂者ケース・マネジメント事例検討会の試み」

丹羽篤（近畿大学医学部附属病院精神神経科）

プログラム 9月23日(土) 大ホール前ホワイエスペース

P II-4 「過量服薬した児童の命を守るために精神科病床を持たない病院のPSW ができること」

本間奈々 (宝塚市立病院)

P II-5 「精神科救急急性期入院棟における自殺ハイリスク患者への支援」

谷口斐香 (地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター)

P II-6 「がんを合併した統合失調症患者に向けた自殺予防のケア」

荒井春生 (いわき明星大学看護学部看護学科)

P II-7 「平成 28 年に新設された診療報酬「救急患者精神科継続支援料」要件研修の開催状況と受講者の属性」

川島義高 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神薬理研究部)

プログラム 9月23日(土) 中会議室201(2階)

10:00～11:00

教育講演Ⅰ 「自殺対策の最新動向」について

演者 宮原真太郎（厚生労働省大臣官房）

座長 竹島正（川崎市健康福祉局障害保健福祉部）

11:00～12:00

教育講演Ⅱ 「妊産婦と自殺予防」

演者 岡野禎治（三重大学保健管理センター）

座長 鈴木利人（順天堂大学精神神経科）

12:00～13:00 共催：持田製薬株式会社・吉富薬品株式会社

ランチョンセミナーⅠ 「抗うつ薬と自殺予防」

演者 渡邊衡一郎（杏林大学医学部精神神経科学教室）

座長 白川治（近畿大学医学部精神神経科学教室）

15:30～17:00

一般演題Ⅱ 「地域」

座長 大山博史（青森県立保健大学健康科学部）

市来真彦（東京医科大学精神医学分野）

0Ⅱ-1 「初期介入後、地域で求められる継続支援とは～救急病院と連携した自殺未遂者支援事業から～」

奥田由子（大津市保健所）

0Ⅱ-2 「自殺対策実務者研修におけるシミュレーション研修の有効性」

橋本聡（国立病院機構熊本医療センター）

0Ⅱ-3 「東日本大震災5年後の福島県からの避難者におけるメンタルヘルス」

袖山紀子（筑波大学医学医療系災害・地域精神医学）

プログラム 9月23日(土) 中会議室201(2階)

OII-4 「援助要請能力を高めるには一般的信頼や良好な人間関係の構築が重要である」

翠川晴彦（栗田病院精神科）

OII-5 「地域における今後の自殺対策」

森山花鈴（南山大学社会倫理研究所）

OII-6 「茨城県の精神科一般救急医療相談窓口を経て治療介入につながった高齢自殺企図者の1例」

遠藤剛（鹿島病院）

17:00～18:30

シンポジウムⅢ 「臨床宗教実践と自殺予防」

座長 島藺進（上智大学大学院実践宗教学研究科・同グリーンケア研究所）

SIII-1 「教義と臨床のはざまで—宗教は自殺罪悪観を乗り越えられるか」

堀江宗正（東京大学大学院人文社会系研究科）

SIII-2 「臨床宗教師の役割と今後の展望」

伊藤高章（上智大学大学院実践宗教学研究科）

SIII-3 「精神医学からみた臨床宗教学」

張賢徳（帝京大学医学部附属溝口病院精神科）

プログラム 9月23日(土) 中会議室202(2階)

10:00～12:00

一般演題Ⅰ 「総合病院」

座長 山田光彦（国立精神神経センター）

福山なおみ（つくば国際大学医療保健学部精神看護学）

0 I -1 「20歳未満の自殺企図者の実態調査とその特徴」

岡村和哉（奈良県立医科大学精神医学講座）

0 I -2 「介入支援を拒否する自殺未遂者の臨床的特徴および拒否理由の検討」

山田典子（茨城県立こころの医療センター）

0 I -3 「健和会大手町病院における自殺企図・自傷行為の手段別の救急外来受診者の検討」

前田穰（健和会大手町病院救急科、福岡大学医学部精神医学教室）

0 I -4 「福岡大学病院における思春期自殺予防外来の試み」

衛藤暢明（福岡大学医学部精神医学教室）

0 I -5 「ケースマネジメント面接に導入した自殺未遂者の特徴～福岡大学病院での取り組み～」

松尾真裕子（福岡大学医学部精神医学教室）

0 I -6 「自死遺族のフォローアップでみえてきたもの～フォローアップレター送付を通して～」

坂本香代（熊本医療センター）

0 I -7 「精神科リエゾンチームと多職種で取り組む自殺未遂者ケア ―非常勤精神科医との活動の工夫―」

石橋直子（筑波メディカルセンター病院）

プログラム 9月23日(土) 中会議室202(2階)

12:00～13:00 共催:富士フィルム RI ファーマ株式会社

ランチョンセミナーⅡ 「脳画像・バイオマーカーと自殺予防」

演者 根本清貴 (筑波大学医学医療系精神医学)

座長 榊原隆次 (東邦大学医療センター佐倉病院内科学神経内科)

15:30～16:30

一般演題Ⅲ 「社会」

座長 斎藤環 (筑波大学医学医療系社会精神保健学)

0Ⅲ-1 「死にたい」ツイートの内容分析」

岡本雄太 (筑波大学医学群医学類)

0Ⅲ-2 「自殺行動の経験者のライフストーリーから見る自殺予防の課題—自己の意味づけの変容に着目して—」

市瀬晶子 (関西学院大学人間福祉学部)

0Ⅲ-3 「ギャンブル依存症による多重債務者の事例にみる、司法書士の支援のありかた」

木下浩 (日本司法書士会連合会)

0Ⅲ-4 「12ステップ系セルフヘルプグループの自殺予防効果に関する試論—ソーシャル・キャピタルという新たな視点—」

長縄洋司 (ロケットペンシル)

16:30～18:30

一般演題Ⅳ 「大学生・高校生」

座長 高橋祥友 (筑波大学災害・地域精神医学)

阪中順子 (加古川市教育委員会青少年育成課 教育相談センター)

0Ⅳ-1 「大学生向け自殺予防教育プログラム作成の試み—セルフ・スティグマの低下に焦点を当てて—」

高橋あすみ (筑波大学大学院)

プログラム 9月23日(土) 中会議室202(2階)

- OIV-2 「埼玉県における大学生等を対象とした自殺対策事業実施の報告と今後の課題」
石田有希 (埼玉県立精神保健福祉センター)
- OIV-3 「高校生が自殺予防教育を普段の生活に役立つと肯定的に回答した<過去の経験の振り返りと学び>」
清水恵子 (山梨県立大学看護学部)
- OIV-4 「発達障害学生における自殺関連事象の特徴―他疾患と比較して―」
石井映美 (筑波大学保健管理センター精神科)
- OIV-5 「視覚・聴覚障害学生に対する自殺予防活動について」
佐々木恵美 (筑波技術大学保健管理センター科学部)
- OIV-6 「大学生の抑うつ状態に対する対人関係カウンセリングの長期的効果の検討」
辻本江美 (関西学院大学大学院文学研究科総合心理科学専攻心理科学領域)
- OIV-7 「ソーシャルワーカーを目指す学生が自殺リスクのあるクライアントの支援に備えるために開発された自殺予防教育プログラム普及のための研究」
小高真美 (上智大学グリーンケア研究所)